

薬事委員会記録

日 時：平成 23 年 12 月 1 日（木） 16 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：伊藤、鶴見、大野、諏訪、村瀬、豊木、青木(光)、安田(満)、天野、木村(豪)、畠山、森田、木村(暁)、富松、吉田、長瀬、堀川、村上、竹中、中口、倉坪、松浦、北市、安田(浩)

委任状提出：青木(隆)、川瀬、加納、齋藤

欠席者：大江、林、松本、金森、大塚、荒木、紀ノ定、岡安

記録の承認

平成 23 年 9 月 1 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について
メインテート錠 0.625mg 以下 13 品目の採用を承認した。
2. 医薬品の継続試用について
ミルセラ注シリンジ 50μg 以下 12 品目の継続試用を承認した。
エポジン皮下注シリンジ 24000 は今回で試用期限を迎えたが、症例が集積せず規定数に達しなかったためと説明され、1 年間の期限延長を承認した。
3. 医薬品の新規試用について
リパクレオンカプセル 150mg 以下 15 品目について、申請診療科および薬剤部より説明された後、ボノテオ錠 50mg を除く 14 品目に対して、新規試用の承認可否について投票を実施した。
ボノテオ錠 50mg については、申請診療科の出席および説明がなかったため今回の委員会での可否投票を見送り、次回以降の委員会で再審議することとなった。
キュビシン静注用 350mg については、使用に際し生体支援センターの許可制として運用することとなった。
4. 医薬品の院内採用中止について
クレスチン細粒以下 14 品目の採用中止を承認した。
5. 医薬品の販売中止について
ケルナックカプセル 80mg の販売中止が報告された。
6. 医薬品の院外採用について
ニッパスカルシウム顆粒 100%以下 12 品目の院外採用を承認した。

報告事項

1. 緊急購入医薬品の登録について
ビリスコピン点滴静注 50 以下 11 品目の緊急購入の登録が報告された。

その他の事項

1. フェンタニル貼付 1 日製剤の採用について
委員長よりフェンタニル貼付 1 日製剤の採用について、委員会に先立って行われたアンケート調査の結果が報告された。
麻酔科より、3 日製剤の継続採用の必要性およびフェントステープとワンデュロパッチの両製剤の必要性、必要と考えられる規格について説明され、フェントステープ 1mg、同 4mg、ワンデュロパッチ 0.84mg、同 3.4mg の計 4 品目について承認可否の投票を実施し、全て承認された。また、1 年後を目途に両剤を評価することとした。
なお、今後麻薬疼痛治療剤の採用については、麻酔科との協議の上で決定することが説明された。
2. フェンタニル貼付製剤のオーダ名の変更について
上記 4 品目の採用に伴い 3 日製剤と 1 日製剤が混在することになるため、処方ミス防止のため全てのフェンタニル貼付製剤のオーダ名の頭に投与期間を追記すると説明された。

医薬品安全使用に関する検討会

1. 製剤変更時の対応について

プログラフ注射液の 5mg 製剤から 2mg 製剤への製剤変更に伴って発生したアクシデントについて説明があり、薬剤部より今後は旧製剤の使用を促進していくとともに在庫量について診療科にフィードバックするとの対策が示された。

2. 医療監視の審査結果について（医薬品の安全使用に関する検討、お薬手帳の活用）

医療監視において、薬事委員会で医薬品の安全使用に関する検討が行われているか、お薬手帳が有効に活用されているか等の指摘事項があったと報告された。お薬手帳については、外来がん化学療法が施行される全患者への配布を行っていること、レジメン名や検査値を記載し薬局薬剤師へ情報を提供していること等を例に挙げ、有効に活用されていると説明された。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 24 年 3 月 1 日(木)とした。